

2026年3月期 中間期決算説明会資料

2025年11月12日



100周年記念キャラクター
ニッピくん

東証プライム：5262

下水道関連事業 基礎事業 プレキャスト事業
“総合コンクリート、主義”

 **NIPPON HUME**

日本ヒューム株式会社



目次

1. 会社概要
2. 2026年3月期中間期 業績説明
3. 2026年3月期業績予想
4. 「23-27計画R」における取り組み状況
5. その他トピックス

1

会社概要

日本ヒュームグループの事業概要

- 「社会基盤の整備に参加し、豊かな人間環境づくりに貢献する」を理念とした企業活動
- 連結子会社：9社、持分法適用関連会社：6社を含むグループで社会基盤の整備に貢献

基礎事業

- コンクリートパイルの設計・製造・販売・施工のワンストップ体制
 - コンクリート製品用型枠の販売
 - コンクリート製品用資材の販売
- <連結子会社>
- ・ ニッポンヒュームインターナショナルリミテッド 他海外1社



パイル施工



パイル製造

下水道関連事業

- 下水道管に用いられるヒューム管、セグメントなどコンクリート製下水道関連製品の製造
- 下水道関連の工事（耐震化/管渠更生など）

<連結子会社>

- ・ 東邦ヒューム管株式会社
- ・ 日本ヒュームエンジニアリング株式会社



管更生（3Sセグメント工法）



合成鋼管

プレキャスト事業

- PCウェル、ボックス、PGF・壁高欄などコンクリート製道路関連製品、その他プレキャストコンクリート製品の製造



PCウェル



壁高欄



RCセグメント



ボックスカルバート

太陽光発電・不動産事業

- 不動産の賃貸、管理及び開発
- 発電および売電に関する事業
- 環境関連機器の販売及びメンテナンス

<連結子会社>

- ・ 株式会社環境改善計画
- ・ 株式会社ヒュームズ



太陽光発電所

鉄工・鉄筋

- 管路用・基礎用製品の型枠、及びその周辺部品

<連結子会社>

- ・ 株式会社鋼商
- ・ 技工曙株式会社
- ・ 株式会社エヌエイチ・フタバ

環境・衛生システム(コンサル)

- オゾン脱臭システム
- 環境（空気・水等）の浄化システム
- 環境・衛生コンサルティング

<連結子会社>

- ・ 株式会社環境改善計画

その他事業

- レンタル事業

2

2026年3月期中間期 業績説明

① 連結損益計算書

- 昨年度の大型杭工事の反動減により減収減益となるも当初より織り込み済
- 下半期の進捗も順調であり、通期予想は期初予想を上回る見込み

(単位：百万円、%)

	2025年3月期 中間期		2026年3月期 中間期			
	金額	構成比	金額	構成比	前期同期比	
					増減額	増減率
売上高	18,922	100.0	16,754	100.0	-2,167	-11.5
営業利益	1,468	7.8	1,145	6.8	-322	-22.0
経常利益	2,491	13.2	2,284	13.6	-207	-8.3
中間純利益(※)	2,082	11.0	1,873	11.1	-208	-10.0
減価償却費	363	—	408	—	+45	+12.4
設備投資	469	—	1,328	—	+859	+183.1

(※)親会社株主に帰属する中間純利益

② 連結貸借対照表

(単位：百万円)	2025年3月 期末	2026年3月 中間期
流動資産	27,099	24,659
(現金及び預金)	12,748	10,209
(棚卸資産)	4,262	4,805
固定資産	30,141	33,546
(有形固定資産)	9,859	10,663
(無形固定資産)	214	321
(投資その他の資産)	20,067	22,561
資産合計	57,240	58,205

(単位：百万円)	2025年3月 期末	2026年3月 中間期
流動負債	9,661	7,484
(短期借入金)	830	830
固定負債	4,496	4,961
負債合計	14,157	12,446
株主資本	38,974	40,402
(自己株式)	△3,495	△3,469
純資産合計	43,083	45,759
負債・純資産合計	57,240	58,205

③ 2025年度中間期 業績総括（連結）

- 基礎事業では、昨年度施工した大型杭工事の反動減による減収減益
- 下水道関連事業では、全国で製品出荷増、また下水道管更生・耐震化工事の増加により増収増益

【売上高】 連結売上高 16,754百万円 前期同期比△2,167百万円 △11.5%

基礎事業	10,005百万円	△ 2,634百万円 △ 20.8%	● 昨年度大型杭工事の反動減
下水道関連事業	5,949百万円	+ 417百万円 + 7.5%	● 製品の出荷増および工事量増加による増収
太陽光発電・不動産事業	753百万円	+ 40百万円 + 5.7%	
その他事業	46百万円	+ 9百万円 + 25.4%	

【営業利益】 連結営業利益 1,145百万円 前期同期比△322百万円 △22.0%

基礎事業	720百万円	△ 500百万円 △ 41.0%	● 昨年度大型杭工事の反動減
下水道関連事業	1,098百万円	+ 217百万円 + 24.6%	● 製品の出荷増および工事量増加による増益
太陽光発電・不動産事業	450百万円	+ 44百万円 + 10.8%	
その他事業	37百万円	+ 9百万円 + 31.4%	

（注）営業利益には、調整額△1,161百万円は含まれておりません。

3

2026年3月期業績予想

2026年度3月期（通期）業績予想

- 採算性の改善や原価低減の進展等により、営業利益は期初予想を上回る見込み
- 当期純利益は期初予想23億円を大きく上回る**30億円**を予想



期初予想より大幅に**上方修正**

（単位：百万円）

	2025年3月期 実績	2026年3月期 (期初予想)	2026年3月期 (修正予想)		
			金額	期初予想差	前年同期比
				増減額	増減額
売上高	37,064	40,000	40,000	±0	+2,935
営業利益	2,022	2,200	2,300	+100	+277
経常利益	3,049	3,050	3,400	+350	+350
当期純利益(※)	3,045	2,270	3,000	+730	-45

(※)親会社株主に帰属する当期純利益

2026年3月期連結業績予想

- 基礎事業では、昨年度大型杭工事の反動減により減益となったが、全体としては堅調の見通し
- 下水道関連事業は、高収益の合成鋼管、PCウェルの出荷増、下水道管の更生・耐震化工事の増加により大幅に増益の見通し

【売上高予想】 連結売上高 40,000百万円 前期比+2,935百万円 +7.9%

基礎事業	24,200百万円	+ 1,480百万円 + 6.5%	● 出荷・工事が堅調に推移する見込み
下水道関連事業	14,200百万円	+ 1,374百万円 + 10.7%	● 出荷および工事増により前年度を上回る見込み
太陽光発電・不動産事業	1,500百万円	+ 75百万円 + 5.2%	● 賃貸不動産のリノベによる収入増
その他事業	100百万円	+ 6百万円 + 6.5%	

【営業利益予想】 連結営業利益 2,300百万円 前期比+277百万円 +13.7%

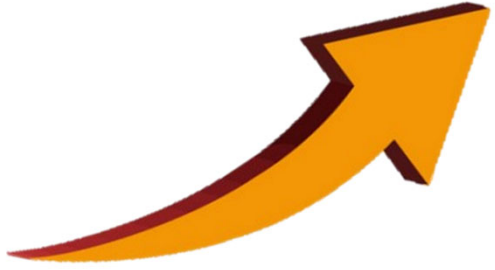
基礎事業	1,000百万円	△ 304百万円 △ 23.4%	● 昨年度大型杭工事の反動減も全体としては堅調
下水道関連事業	2,700百万円	+ 764百万円 + 39.5%	● 出荷および工事増により前年度を大幅に上回る見込み
太陽光発電・不動産事業	860百万円	+ 56百万円 + 6.8%	● 賃貸不動産のリノベによる収入増
その他事業	80百万円	+ 3百万円 + 3.7%	

(注) 営業利益には、調整額△2,340百万円は含まれておりません。

4

「23-27計画 R」における取り組み状況

損益の進捗状況

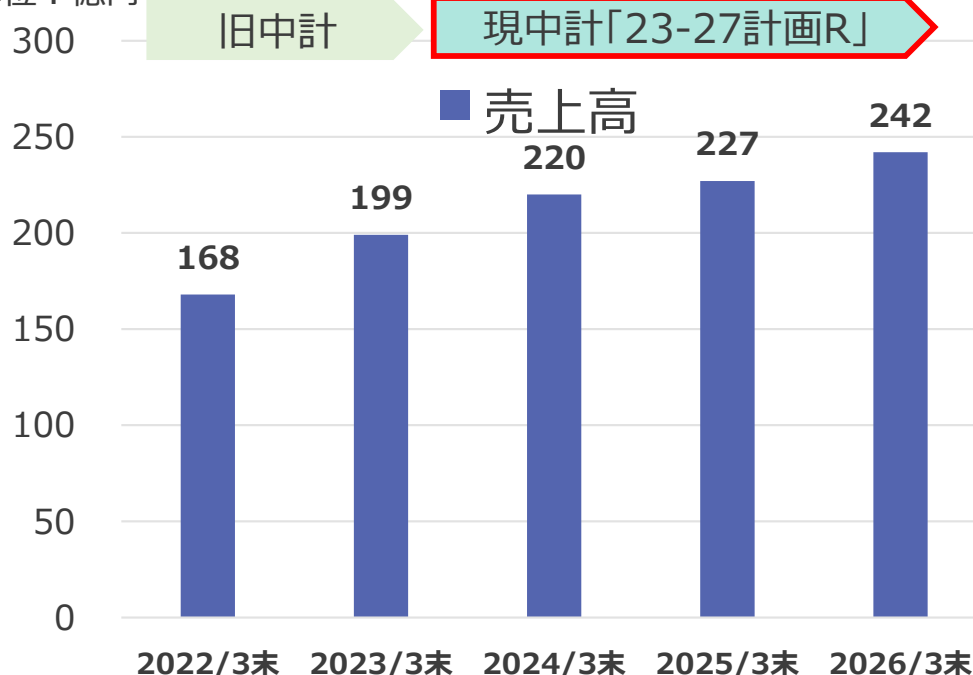
	2024年3月期	2025年3月期	2026年3月期	2027年3月期～
売上高	337億円	371億円	400億円	 更なる成長へ！
営業利益	14億円	20億円	23億円	
当期純利益	19億円	31億円	30億円	
中期経営計画	『23-27計画R』 (2024年3月期～ 2028年3月期)		2年前倒しで 達成見込み！	次期計画

4-1

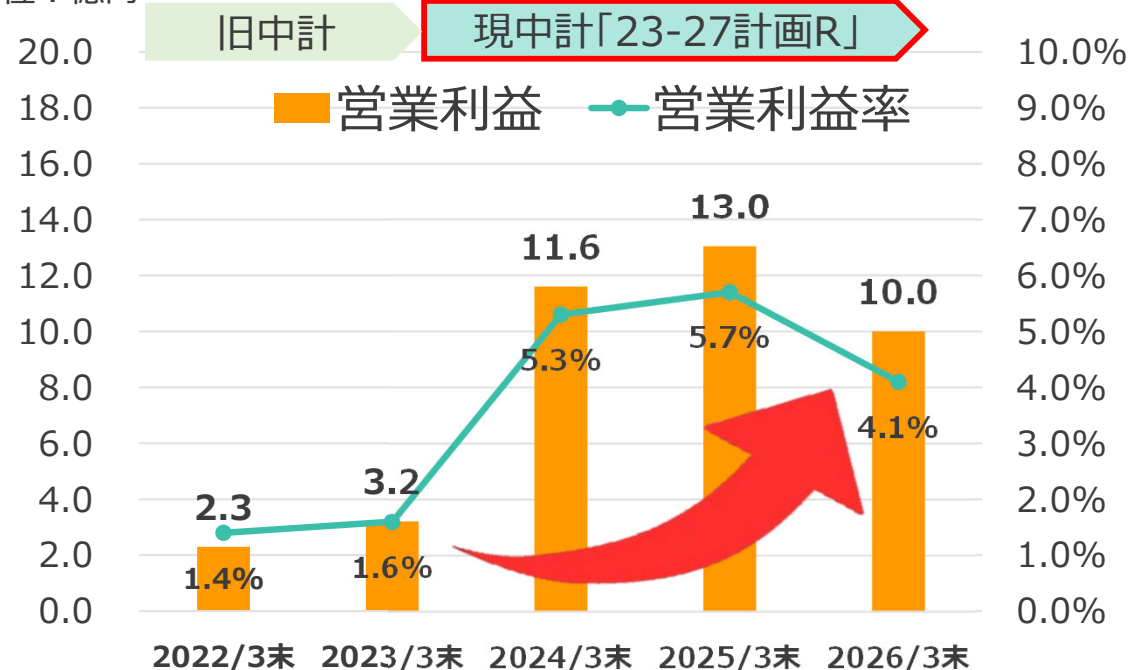
事業別戦略

基礎事業の進捗状況

単位：億円



単位：億円



今後の主な成長戦略

中掘工法(差別化)



「CP-X工法」

超高強度杭(差別化)



「強度200N/mm² 杭」

ICT施工



「Pile-ViMSys®」

大型案件対応(設備投資)



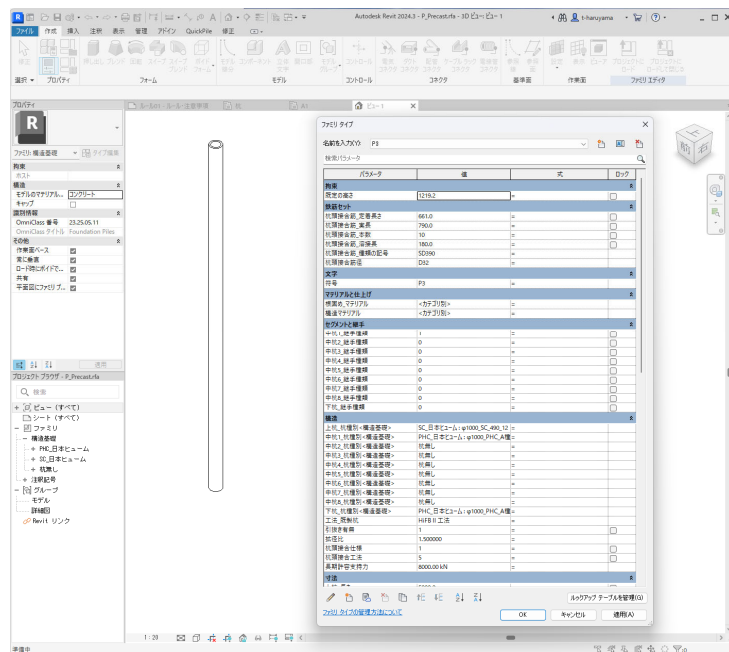
基礎事業の進捗状況

Autodesk Revit向け「既製コンクリート杭ファミリ」無償公開

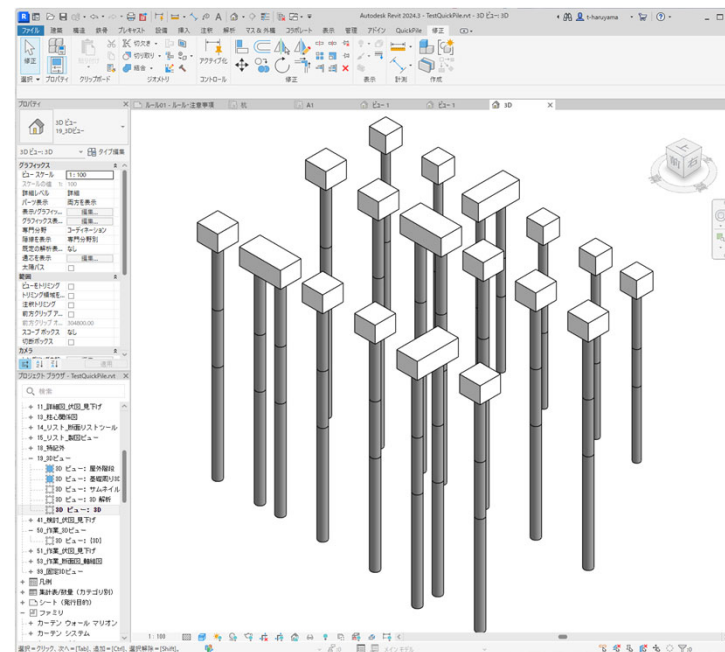
※Autodesk Revitは、建設最大手5社による構造物データ(ファミリ)が統一されたBIMソフトウェア

BIMソフトウェア「Autodesk Revit」向けに、
既製コンクリート杭（ストレート杭）ファミリの設計支援データを整備・無償公開

引き続き節杭やHB杭のような拡張杭やその他のプレキャスト製品ファミリ整備・展開を進め、
当社製品データ活用機会増加による受注増を狙っていく



【杭セット1本分のファミリ画面イメージ】



【3D化された杭配置図のイメージ】

国内最高強度(コンクリート強度 200N/mm^2)の 超高強度コンクリートパイルを開発

- 現在の既製杭に用いられるコンクリートの最高強度は 140N/mm^2 とされている（当社調べ）
- 今回開発した**強度 200N/mm^2** は**国内最高強度**

超高強度パイルの活用により、

- 製造では杭材の小径化（**使用材料の削減**）、施工では**掘削残土、 CO_2 排出量を削減**
- 既存の高支持力工法の活用により、**既製コンクリートでは適用が難しかった構造物での適用も視野**



200N杭曲げ試験風景



200N杭コア採取

旧中計

現中計「23-27計画R」

■ 売上高 142

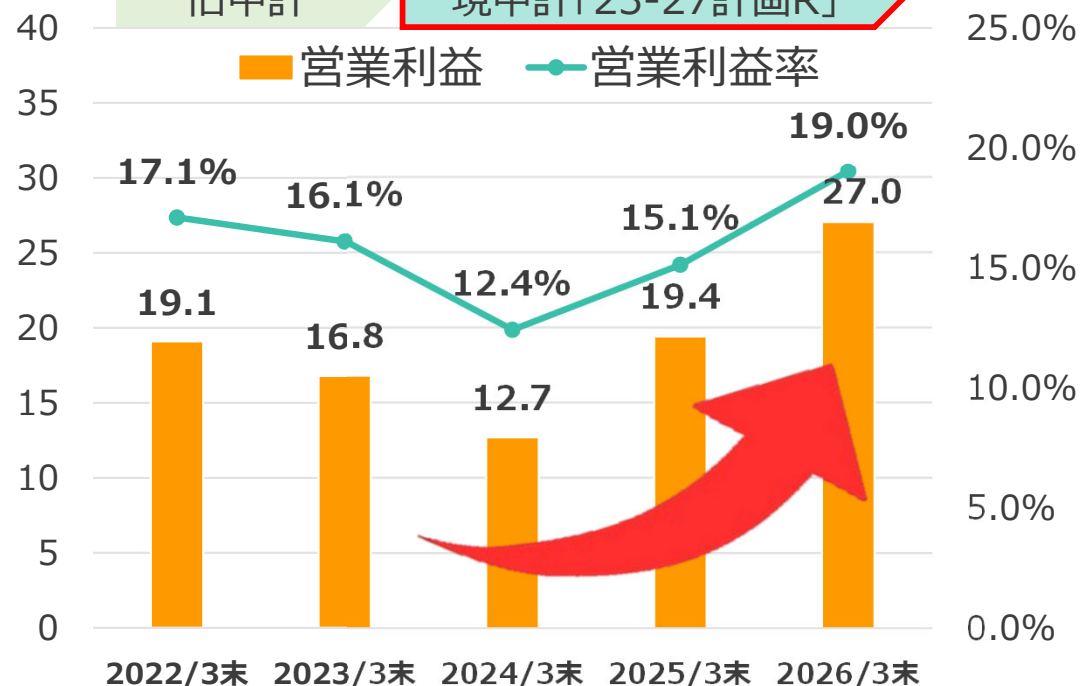


旧中計

現中計「23-27計画R」

■ 営業利益

— 営業利益率



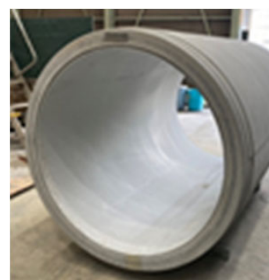
今後の主な成長戦略

長寿命・高耐久コンクリート



「大口径推進管」

「合成鋼管」



「ビックリート」

「e-CON®」

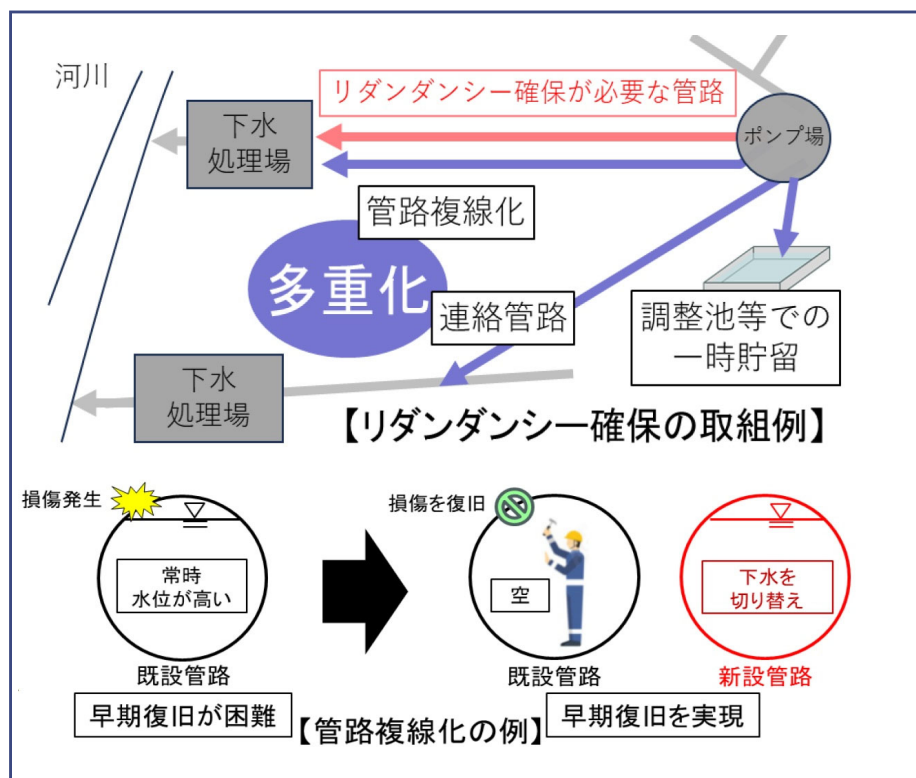
[illegible]

「ヒューム管2.0」

下水道関連事業の進捗状況

下水道事業の最新業界動向

- ・下水道管路のリダンダンシー(冗長性)やメンテナビリティ(維持管理の容易性)の確保
- ・点検・調査・診断の高頻度化・高度化/新技術の導入やデジタル管理体制の早期確立
- ・重要管路は100年以上にわたり機能を維持/強靱で持続可能な下水道システムへ



原則 **1年以内**に
対策が必要な
管路は**約75km**

担い手不足
財政難

地震・豪雨など
災害の激甚化

下水道管路メンテナンスをとりまくキーワード

リダンダンシー
メンテナビリティ
確保

維持管理すべき
量が能力を
上回っている

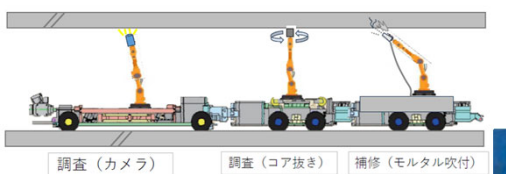
予防保全型の
インフラ整備へ

(出典：第3回下水道管路マネジメントのための技術基準等検討会)

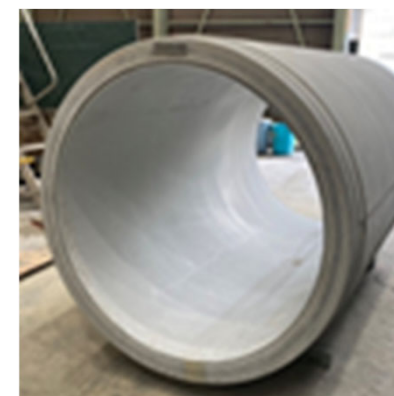
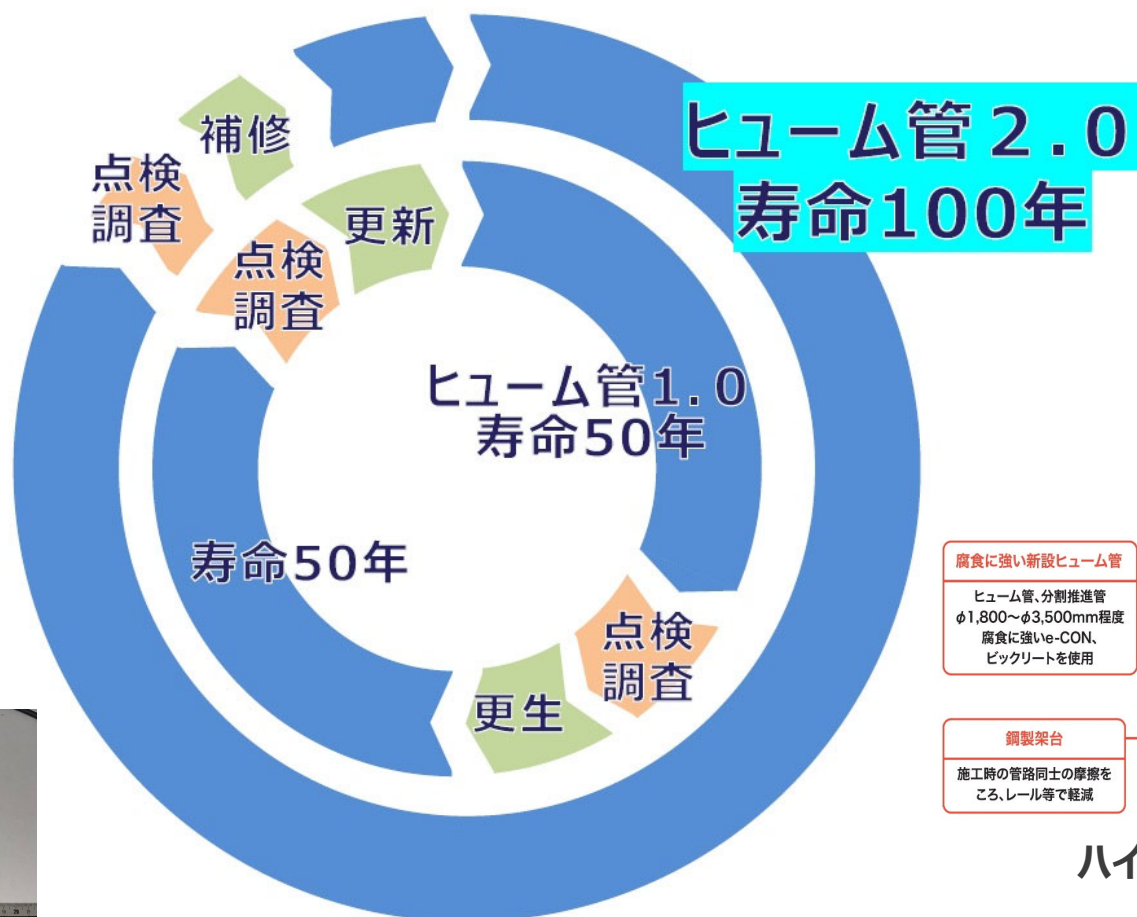
下水道関連事業の進捗状況 【ヒューム管2.0】の提案

ヒューム管の長寿命・高耐久＋最小限メンテナンスで長期使用へ

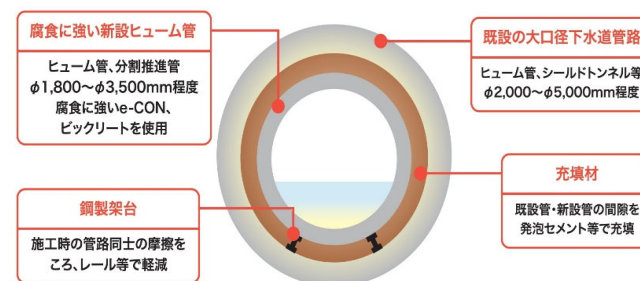
100年耐える！ 未来のヒューム管へー



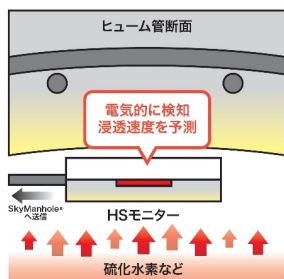
モルタル吹き付け工法



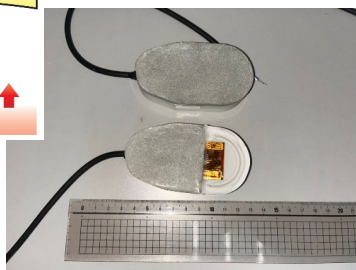
e-CON



ハイクインヒューム工法



HSモニター



下水道関連事業の進捗状況

e-CONが公益社団法人 土木学会の技術開発賞を受賞

賞の名称：令和6年度土木学会技術開発賞

受賞者：日本ヒューム株式会社

：東京都下水道サービス株式会社

受賞日：2025年6月13日

受賞理由

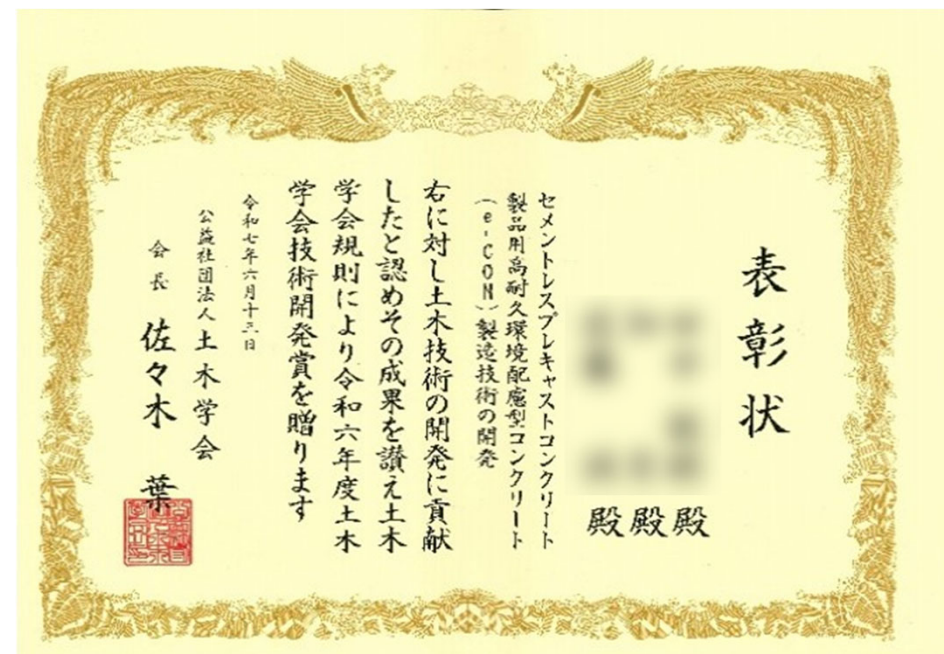
- 高い耐硫酸性
- 従来のセメントコンクリート製品同等以上の強度
- 排出CO₂を大幅に削減可能
- インフラ長寿命化と地球環境保全の両面で貢献



生物共生パネル



バルブボックス



プレキャスト事業の進捗状況

現状の実績と今後の取り組み

- 基礎事業、下水道事業に続く第三の柱とすべく、各分野の予材量増加に取り組む

	現状の実績	今後の取り組み
道路	壁高欄、PCウェルの出荷増	設計ソフト導入による高度な提案(DX化)
治水	流域治水貯留事業で顕著な実績	プレキャスト水門や遊水池の提案拡大
港湾	生物共生パネル、護岸突堤等の納入実績	漁礁や港湾向け設計提案
防衛	重点成長分野として研究開発中	防衛施設に対するプレキャスト化・標準化提案

- 予材量2025年3月末は**前年比158%**を達成。2026年3月末は**更に120%**を目標とする
- 3Dプリンティング技術を応用した製造工程の自動化（省人化）

道路分野



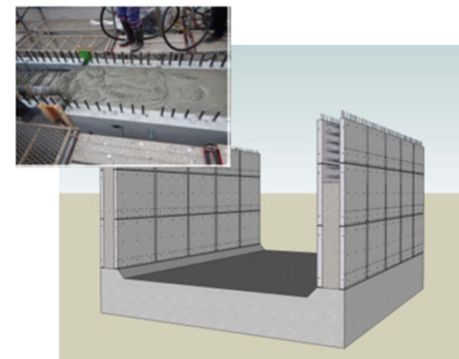
治水分野



港湾分野



防衛分野



ロボットアームを活用したコンクリート自動打設システム 「NH-ROBOCON」を開発

- 人力で行っていた作業の無人化（省力化）
- 3Dプリンティング型枠を使い、型枠レスプレキャストの製造が可能

《「NH-ROBOCON」の主な機能》

① 自動型枠位置検出

型枠の位置を自動認識し、誤差を排除

② コンクリート残量の自動検出および補充機能

センサーによる残量と補充の管理、自動で補給

③ バイブレーターの自動挿入

均一な締固めを実現し、製品品質を向上

④ 打ちあがり高さの自動検出

自動で高さ管理を行い、作業のミスを防止



鋼製型枠へのコンクリート打設風景

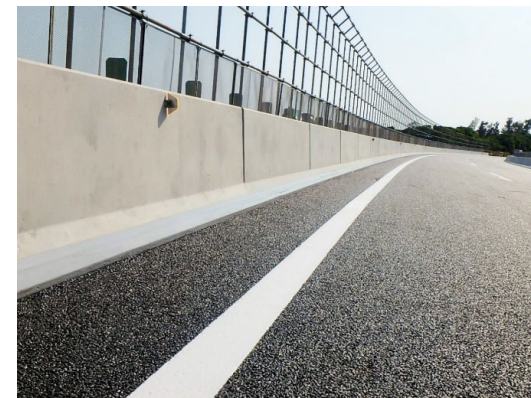


3Dプリント型枠へのコンクリート打設風景

プレキャスト事業の進捗状況

「プレキャスト防護柵自動製図システム（NH-GFAS）」 開発による設計DX化推進

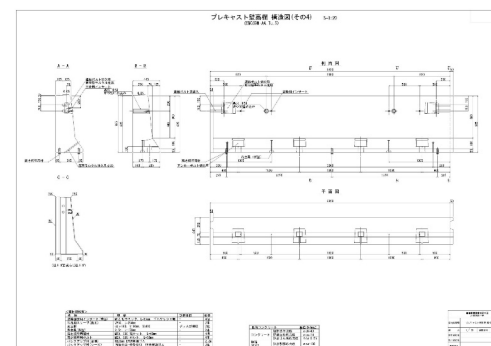
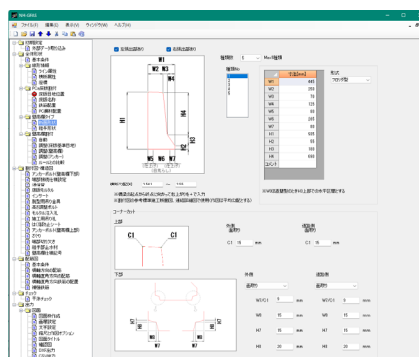
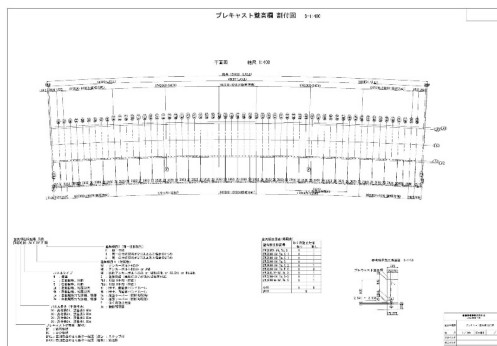
【EMC壁高欄】



- 自動化により設計業務時間70%削減！
- より高度な検討や顧客への提案活動に注力

「プレキャスト防護柵自動製図システム（NH-GFAS）」の特徴

- プレキャスト床版の線形データと諸条件入力で割付図を自動決定
- 各壁高欄の付属品設定と連動し、構造図・配筋図・鉄筋加工図を自動作成



4-2

財務戦略

財務戦略（資本政策）

- 自己株式取得
- 株式分割/株主優待制度拡張（2026年1月より）

自己株式取得

期末自己株式推移：

会計期間	期末自己株式数	帳簿価額
2024年3月期	5.5百万株	28億円
2025年3月期	6.1百万株	35億円

2026年3月期自己株式取得状況：

⇒2025年10月15日 200,000株 6.5億円

【URL】

[自己株式立会外買付取引（ToSTNeT-3）による自己株式買付の結果および取得終了に関するお知らせ.pdf](#)

取得目的：

- ①資本効率向上（ROE向上のため）
⇒ROE目標8%
- ②政策保有株式縮減の対価として
⇒対連結純資産比率10%以下目標
- ③株主還元向上のため
⇒総還元性向50%目標
- ④将来の株式交換に備えるため
⇒株式交換対価として

株式分割/優待制度拡充

1.株式分割

中長期的な企業価値向上のため、投資単位当たりの投資金額を引き下げることにより、株式の流動性向上及びより幅広い投資家様のご支援を頂くため

分割前の発行済株式総数	29,347,500株
分割により増加する株式数	29,347,500株
分割後の発行済株式総数	58,695,000株

基準日公示日：2025年12月16日(火)

基準日：2025年12月31日(水)

効力発生日：2026年1月1日(木)

2.優待制度拡充

600～799株（分割前300～399株相当）
保有の株主様に1,500pointを新たに付与いたします

【URL】

[株式分割、株式分割に伴う定款一部変更、自己株式取得に係る事項の一部修正、配当予想の修正ならびに株主優待制度の変更等に関するお知らせ.pdf](#)

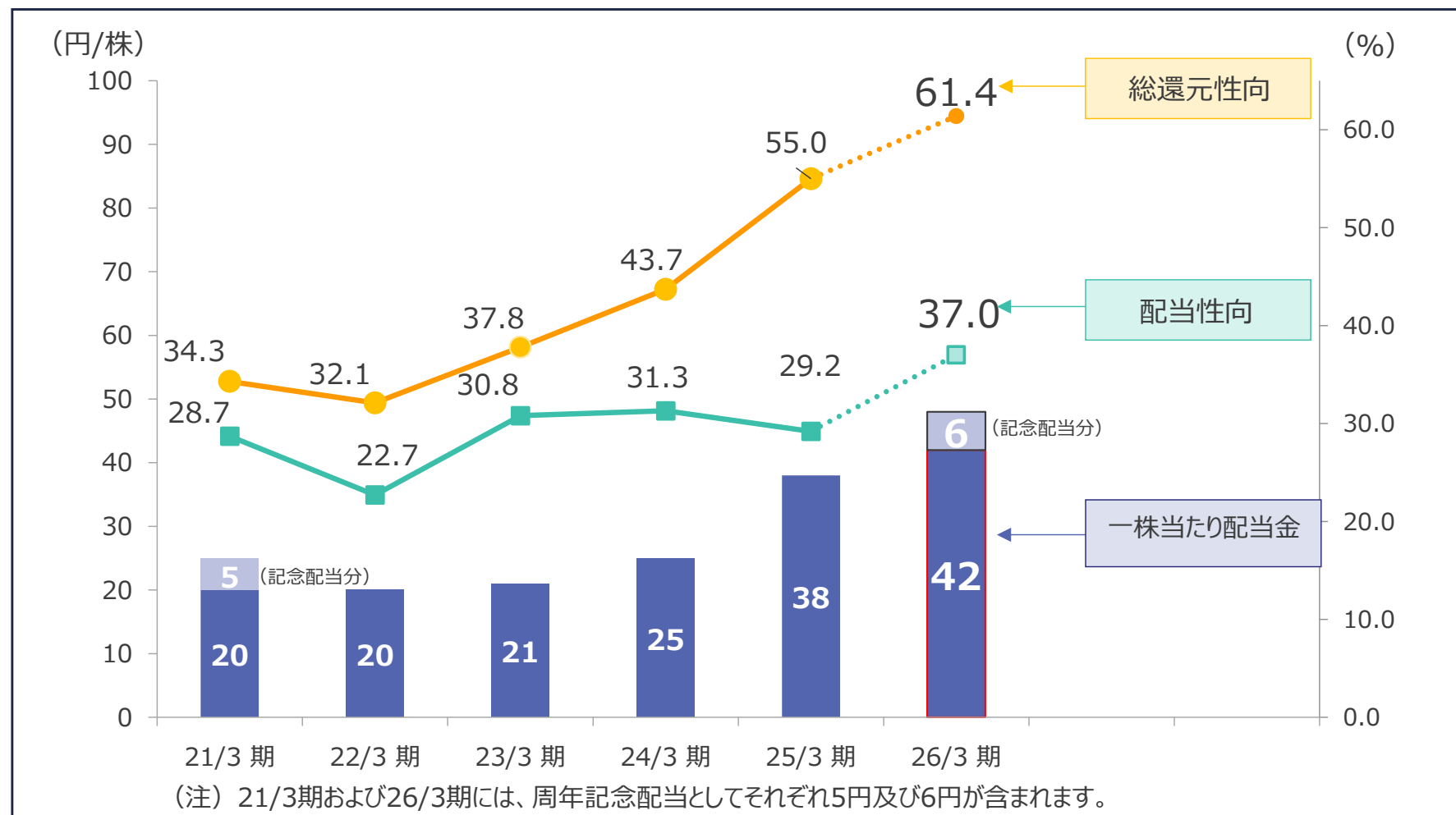
財務戦略（株主還元）

➤ 安定的株主還元の向上

✓ 業績上方修正により **4円増配**

✓ **100周年記念配当6円**含めて計 **48円/株**を配当

⇒ 2025年12月 22円/株 2026年6月 26円/株



4-3

ESG戦略

ESG戦略

- e-CON協会総会
- おしごと年鑑2025

e-CON協会総会

9月24日に第1回e-CON協会定時総会を開催

2025年1月の「e-CON協会」発足後、9月24日に全国のコンクリート二次製品メーカー28社が賛同・入会し、「第1回e-CON協会総会」を開催しました。今後は普及・標準化と技術蓄積を進め、持続可能な社会と業界の健全な発展に貢献していきます。



おしごと年鑑2025(制作:朝日学生新聞社)

小・中学生向けキャリア教材に協賛しました

当社の「おしごと」を広く知っていただくため、主力の「コンクリートパイル」を中心に事業をわかりやすく紹介しています。『おしごと年鑑』は全国の小中学校に寄贈され、授業などで子どもたちの将来のビジョンづくりに活用されています。



5

その他トピックス

その他トピックス

100周年記念事業

2025年10月20日、おかげさまで創立100周年を迎えました

経済誌「週刊エコノミスト」に掲載

『100年企業物語』にて、インタビュー記事が掲載されました。



100周年記念祝賀会を開催

約100名の来賓・関係者にご出席いただきました。

これまでの感謝と、今後も社会に信頼される企業を目指す抱負をお伝えするとともに、多くの激励と期待のお言葉を頂戴しました。



100周年記念ラッピングバス登場

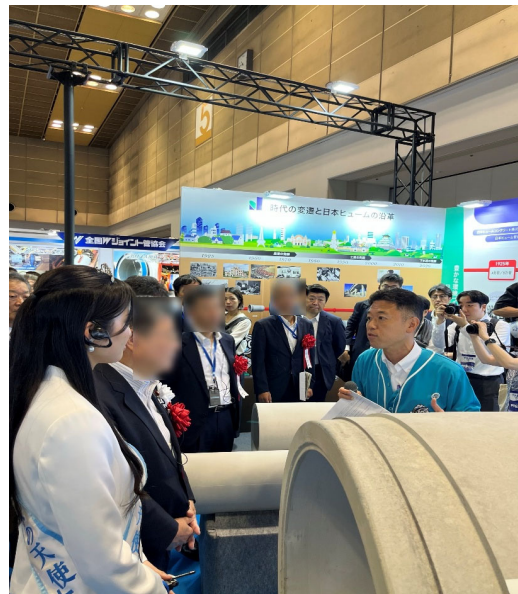
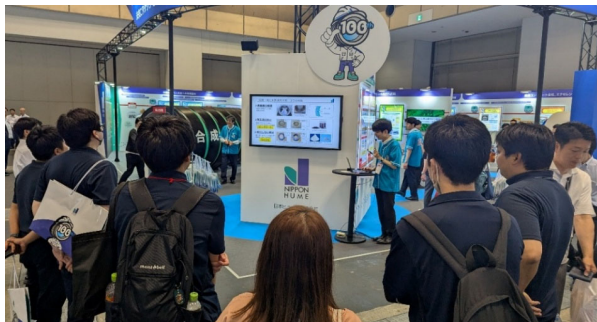
当社オリジナルデザインのラッピングバスが都内を走行しました。



下水道展'25大阪に出展

国内最大規模の“下水道”の展示会—下水道展に出展しました(7月29日～8月1日@インテックス大阪)

「社会インフラを支え、未来にワクワクを重ねる会社」をテーマに、100年の歩みとともに、主力製品をはじめ「HSモニター」「パイプインヒューム工法」などを初展示。地方自治体や関連企業の多くの関係者にご来場いただきました。



社会インフラを支え、未来にワクワクを重ねる会社

100 下水道管の硫化水素浸透状況を無人遠隔モニタリング

下水道管が寿命を迎える前に検知・診断・修復

HSモニター (硫化水素浸透検知センサー) → SkyManhole を経由してデータ収集・解析・ドローン調査 → 詳細調査(コア分析) → 検知・診断・修復

● 検知・診断・修復のサイクル

● 特徴的なメリット

- 検知・診断・修復のサイクル
- 検知・診断・修復のサイクル

IoTセンサによる下水道管の点検調査の無人化
下水道管の予防保全による長寿命化

特許出願中

共同開発：(株)NJS センサ開発センター(株)

社会インフラを支え、未来にワクワクを重ねる会社

100 大口径下水道管はヒューム管で非開削更新!

国土交通省：大口径管再構築目標(2025年6月閣議決定)

- 更新の社会的影響が大きい、大口径下水道管を対象
- 内径2,000mm以上かつ利用30年以上
- 更新費用5,000万円
- 検知・診断・修復のサイクル
- 検知・診断・修復のサイクル

大口径管を非開削で更新

敷設に強い新設ヒューム管

ヒューム管、分岐継手等
φ1,800mm～φ3,000mm程度
既設に強いe-CO₂、ビジュアル管を使用

鋼管継合

施工時の管周部との摩擦を
こもーる等で軽減

既設の大口径下水道管
ヒューム管、分岐継手等
φ2,000～φ3,000mm程度

全国各地の大口径管の大規模更新に
迅速に対応してまいります

パイプインヒューム工法

共同開発：(株)NJS センサ開発センター(株)

その他トピックス

ミリタリーエンジニアリングテクノフェアに出展(9月10日@グランドヒル市ヶ谷)



プレキャストコンクリートと特殊材料の相乗効果や防衛施設の抗堪化をテーマに、当社の技術力や多様な先進材料の活用、異素材による複層化を展示し、技術発表会も実施しました。

IR・株式投資フェア〈資産運用EXPO【夏】〉に出展(8月1日～8月2日@東京ビッグサイト)



多くの個人投資家にご来場いただき、当社の業務内容や業界動向をご説明しました。「上場企業によるIR・株式投資セミナー」では、会社説明会も開催し、多数の方にご聴講いただきました。

【将来に関する記述等について】

本資料は、発表日現在において入手可能な情報及び将来の業績に影響を与える不確実な要因に係る仮定を前提としており、当社としてその実現を約束する趣旨のものではありません。

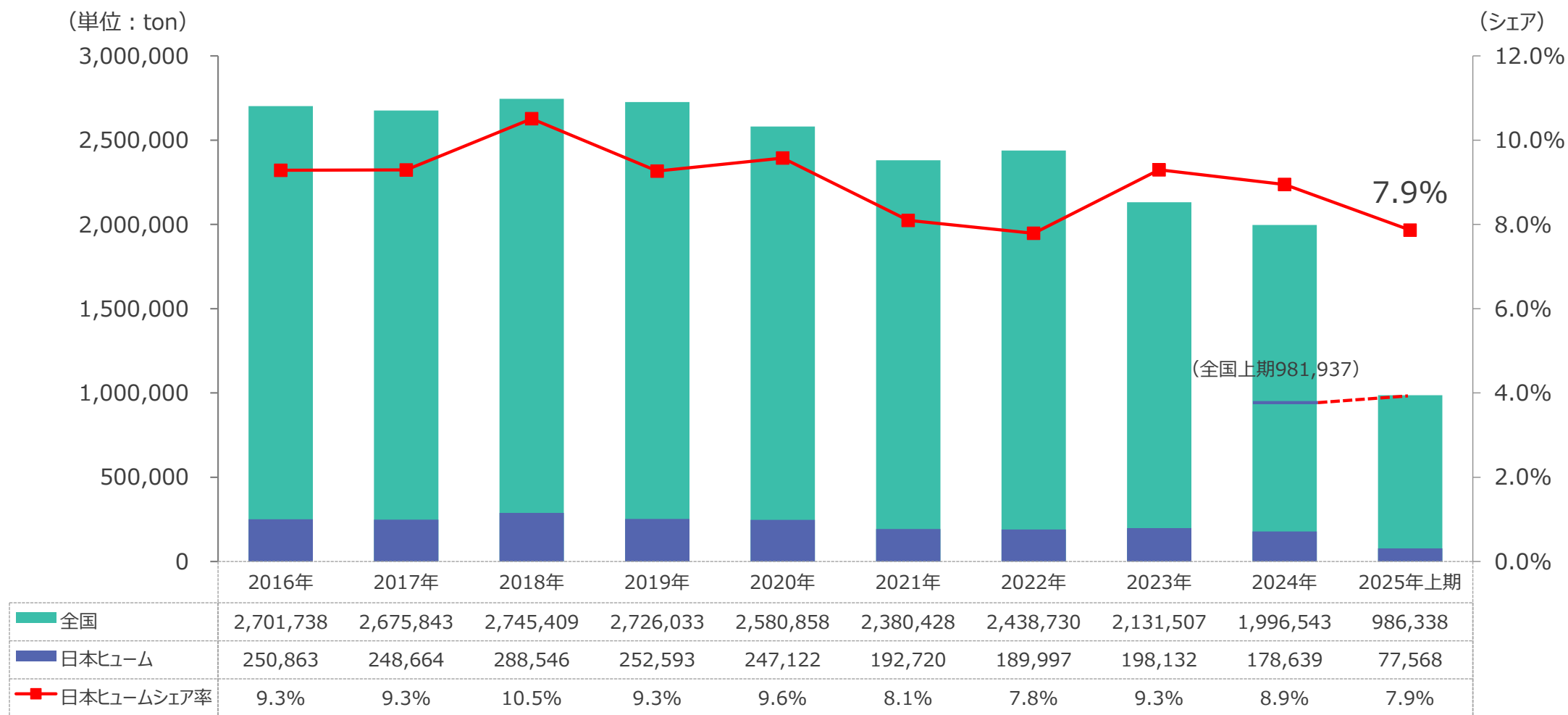
今後、実際の業績は、金融市場の動向、経済の状況、競合の状況や地価の変動の他、様々な要因によって大きく異なる結果となる可能性があります。

【数値表記について】

百万円未満は切り捨てで表示しております。そのため、一部合計数値が一致しないところがございます。

参考資料

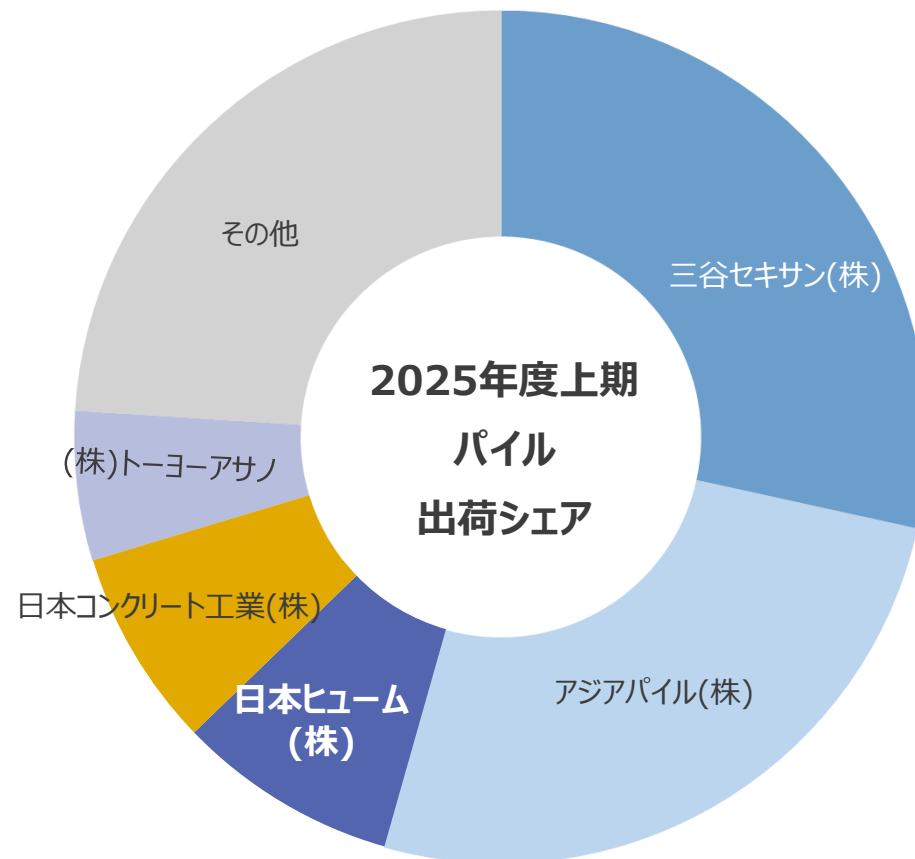
業界データ（基礎事業）：パイル需要推移



(出典：コンクリートパイル・ポール協会資料より算出)

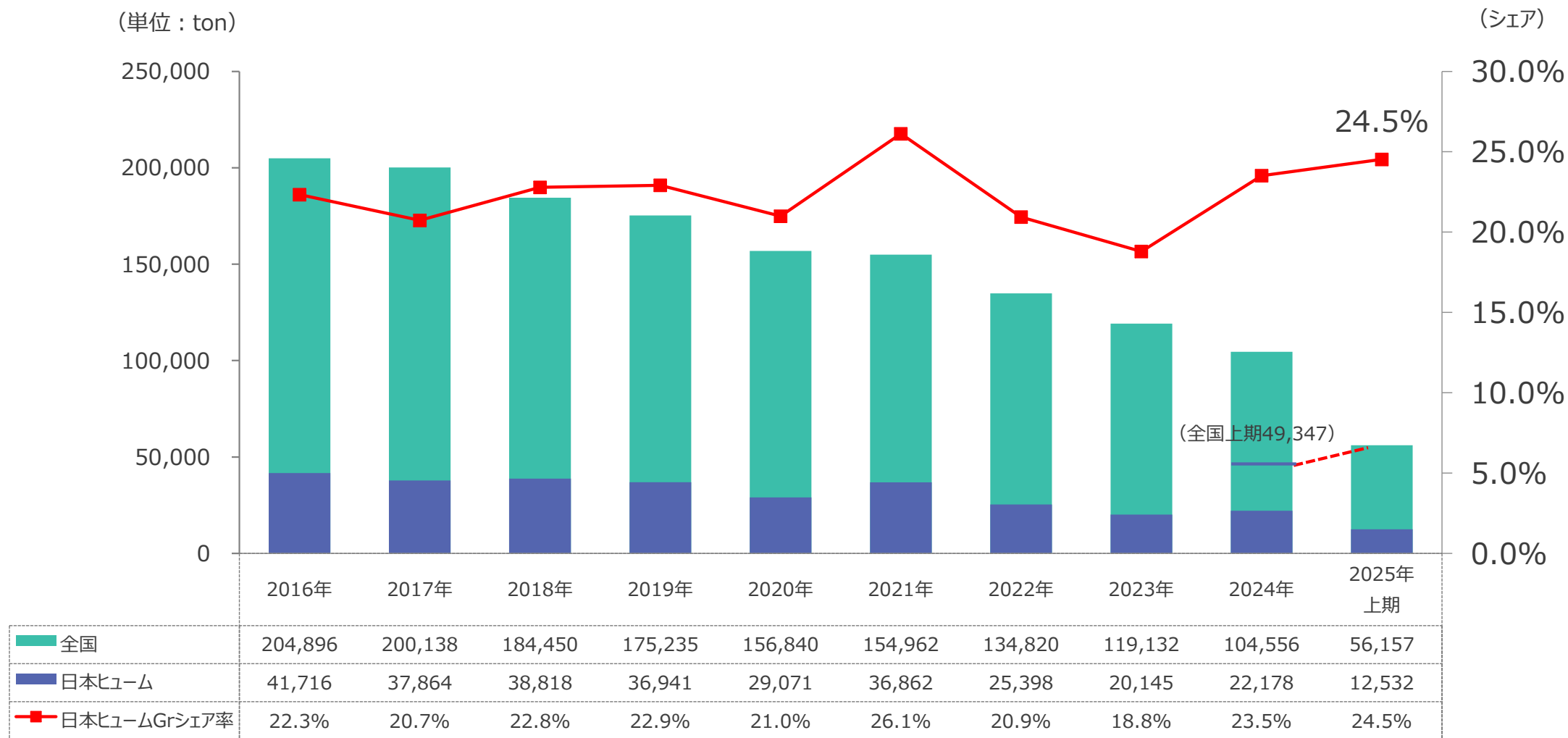
業界データ（基礎事業）：2025年度上期パイル出荷実績

	会社名	出荷量 (ton)	シェア	前年 同期比
1	三谷セキサン(株)	347,614	35.2%	+7.0%
2	アジアパイル(株)	281,662	28.6%	+0.8%
3	日本ヒューム(株)	77,568	7.9%	−1.7%
4	日本コンクリート工業(株)	64,021	6.5%	−1.7%
5	(株)トーヨーアサノ	52,164	5.3%	−0.9%
6	前田製管(株)	32,352	3.3%	−0.4%
7	マナック(株)	17,146	1.7%	−1.4%
8	日本高圧コンクリート(株)	12,908	1.3%	−0.1%
	その他	100,903	10.2%	−1.6%
	合計	986,338	−	+0.4%



(出典：コンクリートパイル・ポール協会資料より算出)

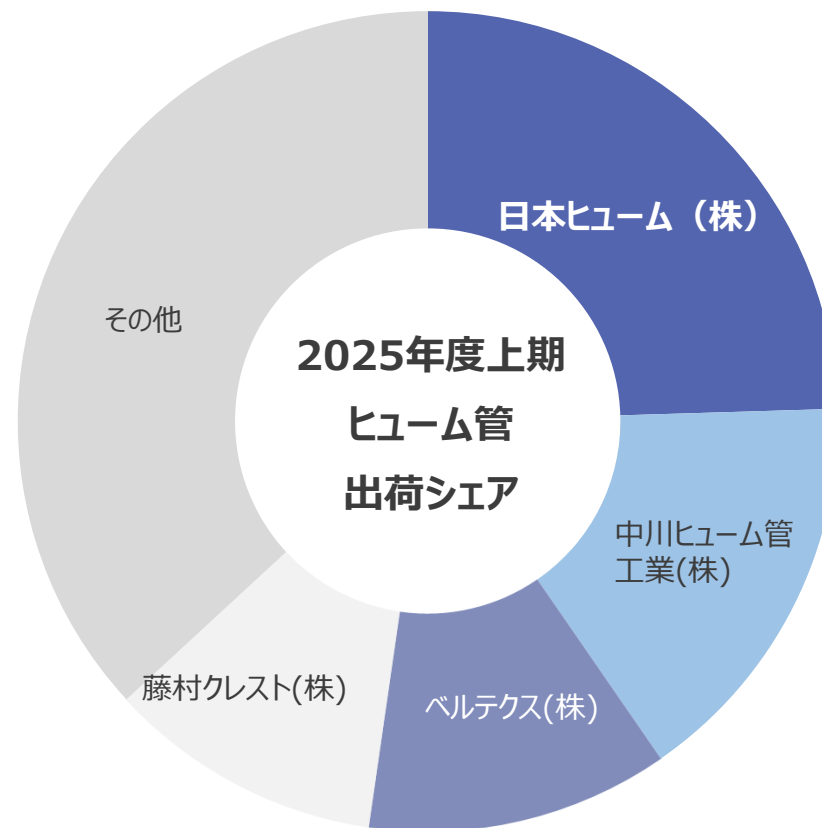
業界データ（下水道関連事業）：ヒューム管需要推移



(出典：全国ヒューム管協会資料より算出)

業界データ（下水道関連事業）：2025年度上期ヒューム管出荷実績

	会社名	出荷量 (ton)	シェア	前年 同期比
1	日本ヒューム(株)	13,770	24.5%	+0.2%
2	中川ヒューム管工業(株)	8,905	15.9%	-2.9%
3	ベルテクス(株)	6,689	11.9%	+0.0%
4	藤村クレスト(株)	6,091	10.9%	+1.7%
	その他	20,702	36.8%	+1.0%
	合計	56,157	—	+13.8%



※日本ヒューム(株)の数値は、持分法適用会社である
東京コンクリート工業(株)（株式40%保有）の数値を含みます

（出典：全国ヒューム管協会資料より算出）